

羽沢遺跡 第83-2地点

遺跡名	羽沢遺跡
よみがな	はねさわいせき
調査地点	第 83-2 地点
主な時代	縄文時代中期 (約 5000 年前)
調査地	富士見市羽沢 1 丁目 736 の一部
調査面積	約 30 m ²
調査期間	平成 31 年 4 月 8 日～4 月 19 日
調査内容	<p>【確認された主な遺構】 縄文時代中期の竪穴住居跡 1 軒 など</p> <p>【出土した主な遺物】 縄文土器</p> <p>【概要】</p> <p>羽沢遺跡は、現在の羽沢郵便局の北側に広がっており、武蔵野台地と砂川堀の支流によって形成された舌状台地の基部に位置しています。</p> <p>今回の調査で確認された縄文時代中期の竪穴住居跡は、後代の耕作等によるかく乱が著しく遺存状況は良くありませんでしたが、中央で焼け土と深鉢形土器の上部が見つかっており、土器を埋め込んだ炉「埋甕炉」を設けていたと思われます。縄文時代中期の羽沢遺跡では小さな谷状の地形を囲む馬蹄形に広がる集落が営まれていたことが分かっており、今回の調査によって確認された住居跡も、その集落を構成する住居の 1 つだったと考えられます。</p>



遺構検出状況



縄文時代中期の竪穴住居跡



縄文時代中期の竪穴住居跡中央の炉跡
(一部が耕作により削られている)



炉体土器 (炉に埋め込まれた土器)